

平成29年 6月号



『江戸東京野菜プロジェクト』の立ち上げについて

今年の3月に卒業された先輩たちが一年生の時のことです。「農業と環境」の授業で三河島大豆や宇奈根ネギ、馬込三寸ニンジンなどの江戸東京野菜を栽培し、その野菜を持ち帰り食べたところ、市販の野菜よりだんぜん美味しい野菜があるのか！と思うほどだったそうです。このことを担当の先生に話したところ、一緒に『江戸東京野菜』で地元瑞穂町の六次産業化に取り組んでみないか！と声をかけていただきました。

そこで、先輩たちが地元瑞穂町との地域連携の目玉として、3年前の1月より江戸東京野菜の一つ『内藤唐辛子』を活用した「内藤唐辛子で六次産業化プロジェクト」を立ち上げました。

『七麻呂』くんについて

研究活動当初に取り組んだことは商品開発でした。瑞穂町は江戸時代夏そばの生産地だったことなどを踏まえ、約半年かけて瑞穂町の特産品を活用した七味唐辛子『瑞穂七色唐辛子』を開発しました。次に取り組んだことは、販売・普及させていくためのイメージキャラクターづくりでした。瑞穂町の特産品「東京だるま」をベースに、頭部は「東京みずほトマト」眉部は「東京狭山茶」腹部は「内藤唐辛子」で出来ています。

なお、命名は瑞穂町産業まつりでの投票により『七麻呂』に決まりました。

今月の主な活動

1. みずほマルシェに参加

16日夕方、JR箱根ヶ崎駅改札口前にて『瑞穂七色唐辛子』『瑞穂夕暮唐辛子』の販売普及活動及び本校の実習生製品の販売活動を行ってきました。このマルシェに参加させていただくのは今回3回目です。固定客とはいえませんが、購入していただいた何人かは「前回購入したものがなくなったので」「市販品とは違う風味なので」と再度ご購入いただいた方でした。少しずつではありますが、私たちの商品が浸透しつつあるのかなとの手応えを感じることが出来ました。

瑞穂町商工会からは、**私たちの取り組みが瑞穂町の経済効果に良い影響を与えている**との言葉ももらうことが出来ました。



2. 第2次産業に明るい光が！

全て瑞穂町内産の食材（第1次産業）にこだわった商品を開発し、町内の各イベントを通した販売普及活動により3軒の飲食店並びに1軒の商店（第3次産業）が商品を活用して下さっている中、**第2次産業（製造・充てん）だけ受け入れ先がなかった**のです。

ところが、今月中旬より前述の商店さんのお口添えもあり、**健康食品製造業の施設をお借りして、試験的ではありますが製造・充てん作業をさせていただける**ことになりました。



この試験が上手くいけば（**ビジネスとして成立する見通しがたてば**）受け入れてくださるとのことです。

そう簡単にビジネスへの見通しは立たないと思いますが、数年後の成立を見据えて取り組んでいきます。